

Min-ON

ワールドミュージック・セレクション
中米4カ国・音楽の祭典



VIVA! CENTRO AMERICA



ビバ! セントロアメリカ

コスタリカ・グアテマラ・ホンジュラス・パナマ



出演 / エディトゥス (コスタリカ) アルフォンソ・バウティスタ・マリンバ・アンサンブル (グアテマラ) ギジェルモ・アンダーソンとセイバーナ (ホンジュラス) サン・プラス (パナマ)

セントロアメリカ — 音楽が美しく出会う場所

公演日程 (2008年)

10月2日(木) 2:00p.m./6:30p.m.
中野サンプラザホール

入場料金: S席 6,500円 A席 6,000円 (税込)

お問い合わせ:

MIN-ONチケットセンター 03-3226-9999

チケットのお求めは

電子チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 298-589]

イープラス <http://eplus.jp> (パソコン&ケータイ)

ローソンチケット 0570-000-777

CNプレイガイド 0570-08-9999

JTB各店・[JTBエンタメデスク] 03-3865-5489

サンプラザプレイガイド 03-3388-7906

主催: MIN-ON 後援: コスタリカ共和国大使館、グアテマラ共和国大使館、ホンジュラス共和国大使館、パナマ共和国大使館 <http://www.min-on.or.jp/>



ワールドミュージック・セレクション
中米4カ国・音楽の祭典

ビバ! セントロアメリカ

コスタリカ・グアテマラ・ホンジュラス・パナマ

セントロアメリカの人気アーティストが集結!!
多彩にして情熱あふれるサウンド——。
中米4ヶ国による夢の競演に、どうぞご期待ください!

EDITUS



中米のクロスオーバー
ミュージック

エディトゥス (コスタリカ)

北米大陸と南米大陸をつなぐ地峡部=中米(セントロアメリカ)には、カリブ海と太平洋にはさまれた魅力的な固有の音楽文化をもつ国々がひしめき合っています。複雑な歴史を歩み、厳しい時代に翻弄されながらも、平和を勝ち取ろうと立ち上がってきた国々。歴史的に、また経済的に、旧宗主国や北の大国の思惑に翻弄されながらも、絢爛たる独自の文化を開花させてきました。

この「ビバ! セントロアメリカ」では、コスタリカ、ホンジュラス、グアテマラ、パナマの4カ国から、各国を代表する精鋭グループが登場。伝統と現代サウンドを絶妙に融合させた、輝かしい個性をきらめかせます。日本ではあまり知られていない音楽家たちですが、実力は折り紙つき。それぞれが、多彩で個性的な音を聞かせてくれることでしょう。

4つのグループを簡単にご紹介します。

まずは、コスタリカ随一の人気と実力を誇るエディトゥス。

バイオリンのリカルド・ラミレス、ギターのエディン・ソリス、パーカッションのカルロス「タパード」バルガスという3人で17年前に結成され1994年にアルバム『イルシオネス』でデビュー。ジャズ、クラシック、ニュー・エイジなどのエッセンスが絶妙にブレンドされた、のびのびと大らかなサウンドが特徴です。70~80年代にかけてニューヨークのサルサ・シーンで大活躍し現在は故郷パナマの観光大臣もつとめているルベン・ブラデスとのコラボレーションでも知られ、『ティエンボス』(2000年)と『ムンド』(03年)によって、2度、グラミー賞を獲得しています。

伝統のマリンバサウンド



Alfonso Bautista
Marimba Ensemble

アルフォンソ・パウティスタ・
マリンバ・アンサンブル(グアテマラ)

続いて、ホンジュラスからは、ギジェルモ・アンダーソンとセイバーナ。

グアテマラ~ベリーズにかけてのカリブ海岸地方では、小アンティル諸島からやってきた黒人逃亡奴隷とカリブ族との混血によって生まれたガルフナ族独特の音楽が脈々と受け継がれ、そこから派生したブンタやバランダといった音楽も人気を誇っています。そのガルフナ音楽の中心地といわれるラ・セイバから世界に飛び出したのがギジェルモ・アンダーソンとセイバーナ。ホンジュラスの音楽を発掘して現在に蘇らせている音楽家たちです。

そして、グアテマラからは、アルフォンソ・パウティスタ・マリンバ・アンサンブル。長らく内戦が続いていたグアテマラでは、96年、政府とゲリラ間で和平合意が成立。その後の民主化と並行して先住民たちの文化復権が進んでおり、中でも「グアテマラはマリンバの大地」として、マリンバ普及がその文化運動の中心に位置しています。マリンバというのは木琴の一種で、ルーツはアフリカとも、もともと中米にあったともいわれますが、いずれにしても先住民を中心として発展し、19世紀後半のグアテマラで現在のような形が完成したとされています。

今年結成25周年を迎えた国立マリンバ・アンサンブルのリーダーがアルフォンソ・パウティスタ。今回来日したのは、そのマリンバ大国の精鋭中の精鋭によって構成されたグアテマラ最高のマリンバ・アンサンブルです。

最後にパナマからは、国際的に活躍する音楽家たち7名が集まって2007年1月に結成されたサン・ブラス。

リーダーのマルコ・リナレスはルベン・ブラデスのギタリストとして活躍。女性リード・シンガーのルス・アンヘラ・ヒメネスはすでに7枚の録音を発表している実力派シンガーで、カリブの民俗楽器ティブレ(小型12弦ギター)の名手としても知られます。パナマ伝統音楽で重要な役割を果たすアコーディオンの第一人者オルメリス・ヒメネスを前面に押し出したサン・ブラスは、パナマの伝統音楽はもとよりラテン・アメリカに伝わる独自の音楽を現代的なアレンジとスタイルで表現。その新々なサウンドが、いま大きな注目を集めています。

音楽ライター 岡本郁生



Guillermo Anderson
& Ceibana

心地よいカリビアン
スタイルミュージック



ギジェルモ・アンダーソン
とセイバーナ(ホンジュラス)

中米最高のラテンバンド

San Blas



サン・ブラス(パナマ)